

北海道熊研究会 会報 第 121 号 2023 年 9 月 14 日

【創刊 2013 年 1 月 25 日】

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所

代表 門崎 允昭

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

Tel 011-892-1057

- ご意見ご連絡は、下記の email へお願い致します
E-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp
- 会報の 1~118 号以前の号は Website に「北海道野生動物研究所」と入力し、
ご覧下さい。
- 「北海道熊研究会」の Facebook と Twitter の編集は横山敬子氏が当たります
Facebook : <https://www.facebook.com/HokkaidoBearResearchAssociation>
- 「北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association の活動目的
熊の実像について調査研究し、それを啓発する事です。

私（門崎允昭）の熊に関する基本姿勢は人的経済的被害を
予防しつつ、極力熊は殺すべきでないと言う立場です。

理由：

この大地は総ての生き物の共有物であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾
病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限りお互い
の存在を容認しようと言う生物倫理(生物の一員として、他種生物に対して、人
が為すべき正しき道に基づく理念による。

<本号のお知らせ>

門崎允昭の新刊書が、9 月 22 日か
ら書店で発売になります：

定価 1,000 円 です。

<表紙の記述>

書名 北海道のヒグマ問題

市街地になぜ出て来るのか 他

ヒグマの居る山野ではホイッスルと鉦が必需品です

市街地、放牧地、農地等への出没抑止には有刺鉄線柵や電気柵を張る事です

カラー写真 15 頁

- ① 第1章 熊が居そうな場所に行く場合の注意
- ② 第2章 熊に対する誤った対応；4 事項
- ③ 第3章 熊が市街地に出て来るに至った経緯と、その出没阻止対策
- ④ 北海道の熊関係の変遷：明治初期から今に至る
- ⑤ 門崎允昭の公表済み学術論文：61 編の一覧と書籍一覧。他。



北海道のヒグマ問題 市街地になぜ出て来るのか他
門崎允昭著
2014年10月10日発行
2014年10月10日発行
160頁
定価 1,500円（税別）

北海道のヒグマ問題

市街地になぜ出て来るのか他



門崎允昭著

By YUKIYASU KADOMATSU

ヒグマの居る山野では
ホイッスルと鉈が必需品です
市街地、放牧地、農地等への出没防止には
有刺鉄線網や**電気柵**を張る事です

北海道自然保護センター